

上海報告

— 日本テキスタイルデザイン協会の上質な？利用法 —



上海に適期的にいくようになり2年余たちました、それというのも弟が蘇州に日本から来る企業のコンサルタント会社を設立し個人でも中国で商売が出来る土台があった為です。中国にデザインを売るには全て許可が必要で個人レベルでは全く不可能と言っていいでしょう。中国語でデザインの事を（設計）と言います、弟は工場を建てる許可を持っているので設計の許可も既に取得しておりました（ラッキーでした）。

然し乍ら最初は全く誰からも相手にされずアポイントひとつ取れないありさまでした、弟の言うには「中国と言う所は肩書きが重要で兄貴のように何も無い名刺では相手にされないよ、何か無いの。」と言われ「日本テキスタイルデザイン協会の会員位かなあ。」と言うと「それは最高！」という言葉が帰ったきました。中国での（協会）は圧倒的は権威があり、日本で言えば省庁の様な役割を果たす所も（協会）と言うのだそうです。上海インテリア協会だけで2500社もの会社が入会しています。西日本理事会に出席し理事の方々より日本テキスタイルデザイン協会の名前を使ってよいという許可を頂き中国の企業にアポイントを取ると嘘の様に経営者のトップと会える様になりました。中国では『日本テキスタイルデザイン協会』は（協会）の上に（日本）と付いているので絶大な権限があるように思われるのです。現在、私は国の機関である上海紡織科学研究院と提携して商売を始めた所です。

上海近辺の建築ラッシュも尋常ではありません、国が土地計画を決める→街ごと壊して→長高層ビル群という手順ですから上海人も2年その場所に行かないと何処にいるの判らないと言います。現在建設中（破壊中）の上海万博会場地に住んでいた住民用に造られた住宅も見事なものです。見渡す限り同じ建物が延々と建築されています。これに伴いホームテキスタイル事情も絶好調のようです。8月23日から25日まで中国上海新国際博覧会中心で行われた「inter TEXTILE SHANHAI」を見てきました。去年も見たのですが展示会場全部ではなくトラクターの展示会と一緒に行われていました。今年は会場全部を使い去年の1.5倍の規模で現在世界第3位のホームテキスタイル展示会までになっています。一つ一つのブースも非常に大きく立派ものばかりでドイツのハイムテキスタイルよりも立派かもしれません。（中国らしく三日目に屋根が落ち